

【てしかがえこまち推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■摩周湖星紀行 実施時期：通年（H29年度実績：4,474名）  夜の摩周湖第一展望台は目線の高さに星が現れ、周囲に遮るものがないため360°のパノラマで美しい星空を楽しむことができます。 内 容：神秘の湖「摩周湖」と美しい星空が織りなす幻想的な景色が魅力のツアー 問合せ先：㈱ツーリズムてしかが TEL：015-483-2101
	■摩周・屈斜路雲海ツアー 実施時期：6月1日～10月10日 (H29年度実績：850名)  森と湖のまち、弟子屈町では6月～10月の期間早朝に雲海がみられることで有名です。季節や条件が揃うと摩周湖に雲海がかかることも。 内 容：神秘の湖「摩周湖」と雲海の壮大な景色が魅力のツアー 問合せ先：㈱ツーリズムてしかが TEL：015-483-2101
	■釧路川源流カヌー 実施時期：通年  屈斜路湖から釧路川源流部をカヌーで下るツアー。湧水ポイントの「鏡の間」では水の美しさを実感できるほか、多種多様な動植物を観察しながら楽しむことができます。 内 容：水と森、生息する動

	植物。自然を満喫できるツアー 問合せ先：㈱ツーリズムてしかが TEL：015-483-2101
エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 毎年、釧路川源流部カヌーツアー（５月～１０月）の際、参加者と一緒にモニタリングを実施している。今年度より、摩周岳登山道についても整備（草刈）時にモニタリングを実施していく予定で、さらなる自然環境の保全に努めていく。 〈観光振興〉 観光を担う地域の人材育成を目的に、てしかが観光塾を開催。一般企業・大学教授・国土交通省認定観光カリスマなど、観光に携わる方々を講師に迎え、色々な視点から「地域らしさ」を活かしたまちづくりや観光振興について考える機会を設けている。 そのほかには、エコツアーの質の向上を目的とした、アウトドアガイド養成講座を開催した。 〈地域振興〉 エコツアーの開発・実施をするにあたり、地域住民やガイド・官公庁職員が連携し草刈や倒木処理といったトレイル整備を実施。 農業祭では地場産野菜の天ぷらの出店を行い、町内外からの来場者に対し、地域資源（食材）の良さをPR。町広報誌を活用してエコツーリズム全体構想の仕組みや活動報告などを発信し、地域住民に対しエコツーリズムの周知を図っている。 〈環境教育の場としての活用〉 当町で実際に販売されているエコツアーを子供たちに体験してもらい、ふるさとの自然の大切さや魅力を知ってもらう取り組みを行っている。昨年度は当町の代表的なエコツアーの一つである「摩周湖星紀行」を自然ガイドにより実施した。
特記事項	エコツーリズム推進全体構想の見直し作業を実施している。特定自然観光資源の指定の検討などを行い、地域の現状に即した全体構想に見直すことにより、持続可能な自然活用と自然保護を行う。

【谷川岳エコツアーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■谷川岳一ノ倉沢エコハイキング 実施時期：6月～11月 （29年度参加者実績：154名） 内 容：高山植物などの自然解説を受けながら、日本三大岩場の谷川岳の大岩壁を目指すツアー。 舗装された道路を歩くため、スニーカーでも参加できるツアーとなっている。 ■谷川岳天神平散策ツアー 実施時期：6月～10月 （29年度参加者実績：28名） 内 容：谷川岳ロープウェイを使い天神平付近を散策するツアー。 カタクリやニッコウキスゲなど、季節の高山植物のお花畑や谷川岳ならではの植物が楽しめるツアーとなっている。 ■谷川岳自然と歴史のトレッキング 実施時期：6月～11月 （29年度参加者実績：18名） 内 容：湯桧曽川沿いの歴史ある道を歩き、谷川岳の大岩壁を目指すツアー。多少の高低差もあり、トレッキング中級者向けのコース。自然解説だけでなく、谷川岳にまつわる歴史をたどることができるツアーとなっている。 問合せ先：谷川岳エコツアーリズム推進協議会 http://www.tanigawadake-eco.com/
	＜自然環境の保全＞ 特定外来種のおオハンゴンソウの除去をしながら谷川岳をトレッキングするツアーを実施。（29年度参加実績30名） 一ノ倉沢の通行規制を行い、自然環境への配慮を行

	うとともに、トレッキングをする方への安全面の配慮を行う。また、歩行が難しい方でも一ノ倉沢を楽しんで頂くために、環境へ配慮した電気バス「一ちゃん」「倉ちゃん」を導入。 27年度からは、協議会インタープリター研修修了生がバスガイドとして乗車しており、気軽に自然解説を楽しめる。 <観光振興・地域振興> 旅行者がみなかみ町内の旅館等宿泊施設を利用すると、特別価格で協議会のエコツアーに参加できるイベントを季節ごとに実施。 また、町内の宿泊事業者と連携を図り、エコツアーと宿泊のセットプランを作成し販売促進を行う。 <環境教育の場としての活用> 町内全小中学校を対象に谷川岳のエコツアーを体験してもらう取り組みを実施。 実際のエコツアーの前に、事前学習会も行い、より身近に谷川岳を感じられる事業を行う。
特記事項	特になし

【飯能市エコツアーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■代表的なエコツアー 飯能エコツアー 実施時期 通年実施 (平成 29 年度実績 : 117 ツアー開催、4,342 人参加) 内 容 飯能にある身近な自然や歴史、文化を資源として、地域住民がその魅力をお伝えし、また、体験を通じて学び、保全につなげるエコツアーを開催している。 地元の漁業協同組合員と川歩きを楽しむ、地域の伝統文化である獅子舞を鑑賞する、地元のお母さんと一緒に郷土食づくりを楽しむツアー等年間 100 ツアー以上開催をしている。 詳しくは、「エコツアーリズムのまち・飯能」ホームページに掲載。URL : http://hanno-eco.com/ 問合せ先 エコツアーリズムに関する問合せ先 飯能市観光・エコツアーリズム推進課 TEL : 042-973-2123 (平日 8 : 30~17 : 15) E-mail : eco2@city.hanno.lg.jp
エコツアーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 ・地元の漁業協同組合、NPO 法人が主催となって、外来魚のブラックバスを駆除するエコツアーを開催。 (平成 29 年度 : 3 ツアー : 40 人参加) ・間伐した木材や竹を活用したエコツアーを開催。 (平成 29 年度 : 4 ツアー : 49 人参加) ・エコツアー開催後に、主催団体に提出していただく書類の中で、活用した資源の状態の報告をするモニタリング結果を記載している。

	〈観光振興〉 ・昨年度は 117 ツアーが実施され、4,342 人がエコツアーに参加した。 ・観光資源（テーマ、実施者など）の発掘調査を実施し、新たなエコツアーを造成している。 ・環境省主催・関連イベント（エコライフフェア、ツーリズム EXPO ジャパン）に出展し、飯能市エコツーリズムの取組みを PR した。 〈地域振興〉 ・飯能市のエコツーリズムの取組みを学ぶ「エコツーリズムセミナー」を開催し、14 名の受講があった。 ・平成 29 年度は新規にエコツアーを実施した団体が 5 団体あり、現在の団体数は 35 団体となった。 ・エコツアーの実施に際して、地元商店や公共交通等の利活用に取り組み、地産地消、地域経済への活性化につなげている。 〈環境教育の場としての活用〉 ・小中学生を対象とした「飯能わくわく体験遠足」で、7 校の受入れを行い、667 人の参加があった。 ・飯能市内の小学校の総合学習、中学校の学習林事業の一環としてエコツアー体験の希望があった、2 校を対象にエコツアーを開催し、359 人の参加があった。
特記事項	・平成 29 年度はガイド内容の満足度 98.7%、スタッフの対応 99.0%、リピーター率は 46.8%であった。 ※満足度は、「とても満足」「ほぼ満足」を合わせている。 ・エコツーリズム推進全体構想の見直し作業を実施している。

【小笠原エコツーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■ホエールウォッチングツアー（父島・母島） 実施時期： （ザトウクジラ）2～4月（ベストシーズン） （マッコウクジラ）5～11月（ベストシーズン） 内 容： 日本で最初の商業ホエールウォッチングが行われた小笠原諸島。陸上や船上から、クジラの雄大な生態に触れ、学ぶことができるツアーです。 ■南島上陸ツアー（父島） 実施時期：2月上旬～11月上旬 内 容： 国の天然記念物にも指定されている「沈水カルスト地形」という石灰岩特有の特殊な地形が幻想的な小さな無人島である南島に上陸するツアーです。 ■千尋岩（ハートロック）ツアー（父島） 実施時期：通年 内 容： 海拔約260mの千尋岩（ハートロック）の頂を目指すツアーです。道中は絶景の他、固有動植物の生態系の観察、太平洋戦争の戦跡の鑑賞などができます。 ■石門（せきもん）一帯ツアー（母島） 実施時期：3月～9月 内 容： 石門は、湿性高木林を主体とした原生性の高い生態系上重要な地域で、極めて貴重な母島だけに生息する固有動植物が存在します。また、“針の岩”と呼ばれる石灰岩の溶食地形（ラピエ）が見られます。 問い合わせ先：（父島）小笠原村観光協会 04998-2-2587 http://www.ogasawaramura.com/

	(母島) 小笠原母島観光協会 04998-3-2300 http://www.hahajima.com/ 平成29年度は推計17,900人ほどの方がこれらを中心としたエコツアーに参加されました。
エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 (1) ルールの啓発 「小笠原ルールブック」により小笠原の自然、文化を守りながら持続的な利活用をしていくために必要な法令・ルールをご紹介します。 (2) ルールの遵守 エコツアーを実施する事業者は、前述の各種ルールに基づいてツアーを企画運営し、参加者にはルールへの理解を深めてもらうよう努力しています。 〈観光、地域振興〉 「小笠原固有の自然や文化を保全しながら持続的な利用を図りつつガイドの社会的な地位を確立すること」を目的に、陸域ガイド登録制度を運用しています。 〈環境教育の場としての活用〉 年間を通じて数多く島外から来島する修学旅行、学習旅行の児童、生徒、学生に対し、海や山のツアープログラムの中で、担当するガイドが小笠原の固有生態系の希少性と共にその保全の重要性についてレクチャーしています。
特記事項	小笠原村は平成28年1月28日に全国7番目、世界自然遺産登録地域としては初めてエコツーリズム推進全体構想の認定を受けました。 また平成28年の新型定期船の就航により来島者数も増加しており、地域全体で自然遺産の保全と利用の両立に日々取り組んでいます。 協議会においても各構成員がそれぞれの事業において両立に向けた実際の取り組みを行いながら、情報共有、協議を通して課題解決を進めるとともに、情報の発信に努めていきます。

【上市まちのわ推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■「大岩ぷちみそぎ修行体験」 実施時期：通年 内 容： 1,300年続く真言密宗の大本山「大岩山日石寺」。山岳信仰の寺として、また、加賀前田家の祈願所として有名なお寺で、「滝行」「写仏」「護摩祈祷」といった修行体験ができます。 また、大岩名物の「そうめん」や「山菜料理」がセットになった特製ランチがセットになったツアーを用意。なお、写仏した紙は護摩祈祷後、特製のお守りになります。 ■森林セラピープログラム 実施時期：3～12月 内 容： 古刹の森で香りをきく、森のレストランツアー 劔岳の登山口である馬場島で森林セラピー体験します。 また、森林散策に加え、野外レストランで富山ならではの特別メニューを堪能し、テント泊も体験できます。 問合せ先：上市町観光協会 TEL076-472-1515

エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 森林セラピーなどのツアーを実施する際には、ガイドに自然環境保全等にかかるルールを定めモニタリングしている。 〈観光振興〉 町の宝（自然・歴史・産業など）を活かし、後世に繋ぎ、持続可能な観光産業の推進を図るため、町の魅力を紹介した情報誌の発行し同時にツアーを行う。今年は「町の産業の歴史」をテーマに事業を展開する。 〈地域振興〉 地域内循環型経済の推進のため、山菜などの地域資源を活用した土産品の開発などを支援している。 〈環境教育の場としての活用〉 自然の循環、環境保全の大切さなど、町内小学生高学年を対象としたエコツーリズム出前授業を行うほか、インターシップ学生を積極的に受け入れ、自然資源を生かした地域内循環型経済推進をテーマに活動を行う。
特記事項	町内全域をフィールドに、自然資源の他、町の隠れた魅力の発見、観光地や地域商店街の活性化、そして交流人口の拡大など、エコツーリズム活動の普及啓発を目的とした 「第4回フォトロゲイニング®上市まちのわ2018」を開催します。ぜひ、ご参加ください。 《開催日》 H30年10月8日（月祝） 《募集締切》 H30年9月7日 ※定員に達し次第、締め切ります。 

【名張市エコツアー推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■ 忍者修行体験ツアー 実施時期：通年 平成 29 年度実績 9,423 人 平成 30 年度計画（内容等は前年度とほぼ同様） 内 容：忍者修行発祥地の赤目四十八滝に隣接する「忍者の森」で登り術、手裏剣術などの約 20 種類の忍者修行体験を行い、修了者に巻物「免許皆伝の書」を渡します。 問合せ先：赤目四十八滝溪谷保勝会エコツアーデスク TEL 0595-64-2695 ■ 夏休みちびっこわくわく体験 ECO ツアー 実施時期：平成 29 年 7 月 22 日～8 月 31 日 （平成 29 年度実績 314 人） 平成 30 年 7 月 21 日～9 月 2 日 （内容等は前年度とほぼ同様） 内 容：赤目四十八滝周辺の雑木林や沢で昆虫、小魚、沢蟹などの生き物を観察しながら冒険的な自然体験を楽しめます。 問合せ先：赤目四十八滝溪谷保勝会エコツアーデスク TEL 0595-64-2695 ■ 滝に打たれて自分をみがくエコツアー 実施時期：平成 29 年 6 月 1 日～10 月 31 日 （平成 29 年度実績 189 人） （平成 29 年 1～2 月大日滝氷瀑ツアー実績 38 人） 平成 30 年 6 月 1 日～10 月 31 日 （内容等は前年度とほぼ同様） 内 容：赤目四十八滝の中でも修験道修行の聖地「大日滝」まで登り、マイナスイオン溢れる幻想的な空間で、滝に打たれ、自分を磨き、癒します。 問合せ先：赤目四十八滝溪谷保勝会エコツアーデスク TEL 0595-64-2695

	■青蓮寺湖ぶどう狩り・いちご狩り 実施時期：ぶどう狩り：平成 29 年 7 月 20 日～10 月 31 日 いちご狩り：平成 30 年 1 月 3 日～5 月 31 日 (平成 29 年度実績 47,089 人) ぶどう狩り：平成 30 年 7 月 20 日～10 月 31 日 いちご狩り：平成 31 年 1 月 3 日～5 月 31 日 (内容等は前年度とほぼ同様) 内 容：青蓮寺湖周辺の青蓮寺湖観光村のぶどう農園で、自然とふれあいながら、夏から秋はぶどうを、冬から春はいちごを収穫し、味わいます。 問合せ先：青蓮寺湖ぶどう組合 TEL 0595-63-7000
エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	＜自然環境の保全＞ 国の天然記念物の「オオサンショウウオ」の生息保護、渓谷内遊歩道・周辺ハイキングコースの保全管理等を行っています。 ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの生息地の保護・観察等をボランティアと連携して行っています。 ＜観光振興＞ 赤目四十八滝、香落溪等の自然資源、忍者等の歴史文化資源を活かした「伊賀地域」、「東大和・西三重」を中心とした広域で連携した観光キャンペーンを展開しています。 ＜地域振興＞ 赤目四十八滝の最寄りの「近鉄赤目口」駅前で赤目まちづくり委員会が運営する「旅のステーション」と連携し、来訪者等への情報提供を図りました。 ＜環境教育の場としての活用＞ 市内外の学校、団体に、観光及びエコツーリズムの情報を発信したところ、環境学習の場として赤目四十八滝を活用する学校がありました。
特記事項	

【鳥羽市エコツアーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■無人島カヤックツアー 実施時期：2月～12月 （※8/13～8/15、12/30～12/31は除く） 内 容：鳥羽湾に浮かぶ三ツ島(3つの無人島)を目指してカヤックで出発。プカプカ海に浮いたり、グイグイ漕いで風を感じたり、楽しみ方は人それぞれです。ガイドも案内しますので、初めての方もスポーツが得意でない方も気軽にお楽しみいただけます。 問合せ先：海島遊民くらぶ (TEL:0599-28-0001)  ■路地裏散策 実施時期：要予約 内 容：離島の漁村ならではの細い路地をガイドと一緒に歩き、島の風習や文化について学びます。豊かな海の幸の「つまみ食い」も楽しめます。 問合せ先：島の旅社(TEL:0599-37-3339)  ■海女小屋体験 実施時期：要予約 内 容：伊勢エビやアワビ、サザエなど素潜りで採取する海女漁が、昔から盛んな相差町。海女さんが体を休める海女小屋「かまど」で、現役海女さんの話を聞きながら、食事やおやつを食べる体験ができます。 問合せ先： はちまんかまど予約センター (TEL:0599-33-1023) 相差観光協会(TEL:0599-33-6411)  ■干潟やアマモ場の生き物観察会 実施時期： 7/15(日) 12:00-15:00 アオリイカの卵を探そう 7/29(日) 11:00-14:00 真夏のアマモ場生き物観察

	9/09(日) 11:00-14:00 アマモ場でエビをつかまえよう ※定員：20 名程度（小学生以上） / 参加費：¥1,200 （持ち物、諸注意あり） 内 容：海の博物館から 10 分ほど歩いた干潟には、イカ・アミメハギ、ヨウジウオ、コメツギガニなど干潟や藻場ならではの生き物に出会えます。 問合せ先：海の博物館(TEL:0599-32-6006) ※詳細は海の博物館 HP をご確認ください。
エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 海に面した山々で放置されたウバメガシの間伐と利用の循環ビジネスモデルを構築しています。株式会社が間伐したウメガシで、薪作りを始める一方、協議会でマーケティングを行い、地元の観光を始めとする事業者が薪の購入などで協力しています。 〈観光振興〉 伊勢志摩地域としてエコツーリズムを観光産業として発展させることを目的とした伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の設立に協力しました。また、ツーリズムEXPOジャパンに参加し、エコツーリズムのPR及び情報交換に努めました。 〈地域振興〉 漁業者が日々感じている「観光客へのおもてなし」の想いを形にするため、鳥羽磯部漁協和具浦支所からの依頼を受け、答志島和具産の生わかめを無料配布しました。 〈環境教育の場としての活用〉 市民や観光客を対象に地質学や生物学、地域文化について分かりやすく解説するエコツアーカフェ等を実施しています。昨年度は鳥羽の代表的な地域資源である海女文化について、現役の海女さんに参加していただき座談会を行いました。
特記事項	鳥羽市エコツーリズム推進協議会では、「循環」と「連携」をキーワードに鳥羽のエコツーリズムを進めるため、さまざまな団体が協議会に関わり、協議や仕組みづくり、普及啓発を行っています。

【南丹市美山エコツアーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■「かやぶきの里ガイドツアー」 実施時期：通年 内 容：かやぶきの里集落内を約 30 分地元ガイドがご案内。（かやぶきの里保存会） ■「芦生の森ネイチャーガイドトレッキングツアー」 実施時期：4 月～11 月 内 容：芦生の森を地元ガイドがご案内する昼食付ツアー（美山町自然文化村） ■「スノーシュー」 実施時期：冬季 内 容：西洋かんじきを履き、町内各地にあるコースを地元ガイドと共に歩きます。（美山町自然文化村・田歌舎・芦生自然学校） ■「美山川ラフティング」 実施時期：3 月～10 月 内 容：美山川を地元ガイドと下る。（田歌舎） ■「鹿解体体験」 実施時期：11 月・3 月 内 容：鹿の解体を見学し、その後ジビエ料理を食べていただく。（田歌舎） 問合せ先： 一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 電話 0771-75-9030 E-mail info@kyoto-miyama.jp
エコツアーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 当協議会所属団体である内久保環境・史跡保存会が京都府指定希少種野生生物である「ベニバナヤマシャクヤク」の保全活動を実施している。また、芦生自然学校を中心に美山漁協など各種関係機関と連携して美山川（由良川）の保全活動を行っている。

エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈観光振興〉 日本版 DMO 法人である一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会の活動を通して地域連携を図っている。また昨年に引き続き第 2 回美山エコツーリズム大会を開催した。美山町各地で 8 つのエコツアーが実施され、138 名参加した。 インバウンド客の誘致のため海外プロモーションも引き続き実施した。 〈地域振興〉 地域のガイドを養成するため、ガイド養成講座（語り部講座）、安全管理講習会および地域で活躍する人を通じたエコツーリズム理解を深めるエコツーリズムカフェを計 11 回実施。延べ計 147 名が参加した。また、近年増加傾向にある訪日外国人対応や滞在型観光のありかたを学ぶため講習会を開催し、59 名が参加した。その他、美山町内でエコツーリズムをはじめ観光産業を目指す人材と美山町で活躍する事業者とが会う機会を創出することで、事業活動が促進し、新たな製品の開発や、起業への促進、不足する人材不足で取り組めなかった課題、双方にとっての就職・採用活動に関する解決の緒を作る。美山町で実践者の事業発信を行なう事業として「トライアルワーキングステイ」を実施、4 団体が計 10 名の参加者（マッチングの結果）を受け入れた。 〈環境教育の場としての活用〉 京都丹波・食と森の協議会と連携し、農山村教育民泊を実施した。町内の各家庭に国内外の学生が滞在し、農山村体験を行った。
特記事項	一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会（DMO 法人）との一元化を目指し、より持続的かつ地域にとって有益な組織のあり方を模索した 1 年であった。

【石鎚山系エコツアーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■石鎚山 お山の案内人 実施時期：通年（H29 年度：259 名） 内 容：石鎚神社成就社周辺の自然散策、お山の歴史、霊山としての石鎚山を学ぶ 問合せ先：NPO 法人 石鎚森の学校 Tel0897-52-5275 ■石鎚プライベートツアー 実施時期：通年（H29 年度：233 名） 内 容：石鎚山系の秘境、夜間登山、バードウォッチング登山 ほか 問合せ先：NPO 法人 西条自然学校 Tel080-5667-5314 ■石鎚山スターナイトツアー 実施時期：通年（H29 年度：860 名） 内 容：神様が住む山、石鎚山 1,300mの夜の天空散歩 ～神秘の星空に会いに行く～ 問合せ先：石鎚登山ロープウェイ㈱ Tel0897-59-0331 ■聖なる森・面河古道トレッキング 実施時期：4 月～11 月（H29 年度：209 名） 内 容：エコツアーガイドと四国で最も深い森の中へ、溪谷・清流・滝・秘境案内 問合せ先：㈱石鎚観光（国民宿舎古岩屋荘） Tel0892-50-8151 ■面河溪キャニオニング 実施時期：6 月～10 月上旬（H29 年度：714 名） 内 容：エメラルドグリーンに輝く清流で、滑ったり、飛び込んだり、面河の大自然を満喫

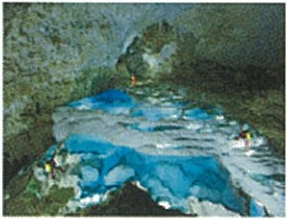
	問合せ先：グッドリバー(株) TEL0895-30-2250
エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 環境保全協力金活用事業として、会員が行う石鎚山系における環境保全活動に対して補助金を交付。H29年度は、石鎚山成就地区の園地にて、下刈りや枝打ち等を実施。 〈観光振興〉 ツーリズム EXPO ジャパン等イベントへの出展や、県外旅行会社向けのメルマガ配信、登山雑誌への記事掲載等により、石鎚山系のエコツアーの魅力を広く周知。あわせて、エコツアーの参加募集強化を図るため、地域情報誌への記事掲載や、当協議会 HP の機能追加（ツアー申込みフォームおよびカレンダー機能の追加）を実施。 〈地域振興〉 面河地域の豊かな自然環境を観光資源として活用し、地域活性化と石鎚山系エコツーリズムの定着を図るためアウトドアフェス in 面河を実施。（来場者数：約 1,000 名） また、人材育成を図るため、環境省主催の研修への参加や、第一線で活躍されている講師を招いてのエコツアーガイドのスキルアップ研修を実施。 〈環境教育の場としての活用〉 山の日に環境啓発親子登山を開催。次世代を担う子どもたちを対象に、石鎚ミニガイドブックを活用しながら、石鎚山系の貴重な自然環境について学んでもらった。
特記事項	エコツーリズムによる観光地域づくりの舵取り役として、地域住民を含めた多様な関係者と協働しながら、エコツアーの企画やマーケティング、プロモーションを行い、更なる推進体制の強化を図る。

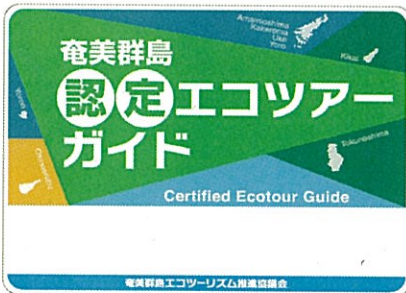
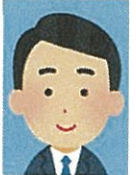
【串間エコツーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■野生馬を追う！都井岬馬追い体験 実施時期：毎年1回（9月下旬）（29実績13人） 内 容：江戸時代から続く馬追いを体験することで、馬を守る地域の歴史に参加する。 問合せ先：都井御崎牧組合 0987-76-1244 ■都井岬野生馬ガイドツアー 実施時期：通年（29実績1,376人） 内 容：国指定天然記念物の野生馬の興味深い社会や都井岬の自然環境を探訪する。 問合せ先：都井岬ビジターセンター 0987-76-1546 ■SUPで行く感動の海散歩ツアー 実施時期：5月～10月（H29参加者数138人） 内 容：スタンド・アップ・パドルでアカウミガメやサングが生息する美しい海を散歩する。 問合せ先：恋ヶ浦自然学校 090-5741-7926 ■定置網体験ツアー 実施時期：通年（H29参加者数223人） 内 容：魚食人口を育て、魚の消費拡大、漁師の所得向上、後継者育成、魚食文化の継承を目指す。 問合せ先：(有)海心 0987-76-1093 ■森のエコ・山の恵みツアー 実施時期：11月～5月（H29参加者数65人） 内 容：森づくり（植樹・育樹）、農産品利用（山菜、木工）等で、森の恵みと循環を伝える。 問合せ先：Camp 権代 0987-72-3211 ■中世の湊（Minato）語り部ガイドツアー 実施時期：通年（12月～2月は夕日が綺麗に見えます）（H29参加者数31人） 内 容：中世の港町から第2次大戦の戦時遺構まで、語り部が世代をこえて郷土の誇りを伝える。 問い合わせ先：本城歴史発見塾 0987-72-3211 ■ふるたけフットパス 実施時期：春・秋（H29参加者数82人）

	内 容：里山草原を地区住民のガイドで散策し、山菜料理など農村文化の魅力を発信する。 問合せ先：くしま自然学校 090-2268-8196 ■南国果実！グアバ収穫&まるかじり体験 実施時期：8月下旬～9月上旬【H30年新規開催】 内 容：3日間しか日持ちしないためジュースに加工される貴重なグアバを収穫・試食！ 問合せ先：串間エコリズム推進協議会 0987-72-1111（代表） ■夏休み！子ども寺子屋体験【H30年新規開催】 実施時期：8月（小学生の夏休み期間中） 内 容：座禅や読経、茶道や華道など伝統的な寺院の生活文化を体験。地場産品の精進料理も。 問合せ先：夏休みこども寺子屋実行委員会 0987-72-2548
エコツアーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 海辺環境を保全する日本財団の海の日全国一斉イベント『BLUE SANTA』で海岸清掃活動を平成30年度も実施予定。 〈観光振興〉 雑誌や機関誌等に広告を掲載したほか、ポロシャツやマグカップ、プロモバッグ、ステッカーなど限定商品を作成販売。エコツアーリズム特別賞の受賞を機に、パンフレット「南国時間」を改訂増刷した。 〈地域振興〉 国指定天然記念物の保護活動の継承を目的に開発したエコツアー『都井岬馬追い体験』を継続して実施。29年12月にはキャンピングカーとエコツアーリズムの試行イベントを実施。 〈環境教育の場としての活用〉 主要なエコツアーである『都井岬野生馬ガイドツアー』は、地元小中学校の総合学習で利用されたほか、宮崎大学農学部や京都大学霊長類研究所、宮崎県総合博物館の野外講座等でも利用された。
特記事項	第12回エコツアーリズム大賞にて、串間エコツアーリズム推進協議会が特別賞を受賞。

【奄美群島エコツアーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	■金作原原生林散策ツアー 実施時期：通年 内 容：固有の動植物を観察しながら、奄美大島を代表する亜熱帯の森を散策しましょう。  ■マングローブカヌー 実施時期：通年 内 容：マングローブ原生林の中をカヌーで散策。雄大な自然を堪能できます。 ■ホエールウォッチング 実施時期：1月～4月 内 容：出産と子育てのためにやってくるザトウクジラ。ダイナミックなパフォーマンスを楽しめます。 ■徳之島全島一優勝旗争奪戦（闘牛大会） 実施時期：1月・5月・10月 内 容：一番強い牛はどの牛か？牛 VS 牛の迫力満点の激戦を観戦できます。 ■沖永良部島ケイビング 実施時期：通年 内 容：地下に広がる神秘的な空間を探検。ガイドも一緒なので安心です。  問い合わせ先：各島観光協会等まで

エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況 	奄美群島のエコツーリズムは、島の宝を「守り」ながら「活かす」ことで、地域を「興す」ことを目指しています。 〈自然環境の保全〉 資源の維持という観点から、人為的影響による資源の状態の変化を把握する自然観光資源の「モニタリング」の体制整備を群島各島で検討しました。 〈観光振興〉 適切な安全管理のもと、質の高い自然体験等を提供し利用者の満足度を高めることが出来るガイドの養成や技能向上のための支援の取組を行いました。 〈地域振興〉 島の宝を再認識し、地域に対する誇りの醸成や、文化・風習の継承へと結びつける取組を展開し、平成29年度までに奄美群島全市町村で行いました。 〈環境教育の場としての活用〉 児童生徒を対象とした環境教育・環境学習への活用において、オキナワウラジロガシ観察会等の「博物館講座・観察会」を開いたほか、鹿児島県と連携した「森林環境教育体験事業」等を実施しました。
特記事項	〈奄美群島認定エコツアーガイド〉 奄美群島の自然・文化について深い知識を有し、来訪者に安全で質の高い体験を提供するとともに、地域の環境保全に責任を持つガイドとして、「奄美群島認定エコツアーガイド」を認定しています。これまでに62名の認定ガイドが誕生しています。  奄美群島認定エコツアーガイド Amami Islands Certified Ecotour Guide 氏名 奄美 太郎 Amami Taro 認定No. 奄-0001 奄美大島エコツアーガイド連絡協議会所属 認定年月日 2017年8月1日 有効期限 2021年3月31日 上記の者は、奄美群島認定エコツアーガイド(奄美大島)として、認定された者であることを認める。 奄美群島エコツーリズム推進協議会 会長 之印 

【渡嘉敷村エコツアーリズム推進協議会・座間味村エコツアーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	慶良間地域では、さまざまな事業者によって、スキューバダイビング、シュノーケリング、シーカヤック、SUP などの体験型エコツアーやホエールウォッチングなどのエコツアーが実施されています。 スキューバダイビングやシュノーケリング、シーカヤック、SUP などは一年を通じて行われているほか、ホエールウォッチングは1月から4月にかけて行われています。 平成 30 年度も例年同様のエコツアーが実施されます。
エコツアーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	＜自然環境の保全＞ 地元のダイビング協会などが中心となり、海域の保全活動として、オニヒトデの駆除、シロレイシガイダマシの駆除や海岸清掃などを実施しました。 ＜観光振興・地域振興＞ 慶良間地域は、平成 26 年 3 月 5 日に国立公園に指定されたことなどを受けて、マスコミなどを通じて全国的に紹介されることが多くなり、エコツアーの問い合わせや利用者も増えてきました。それに併せて地域の飲食店、民宿などの利用者も増加しました。 ＜環境教育の場としての活用＞ 渡嘉敷村では、渡嘉敷村を訪れた修学旅行生に対して、自然環境の解説などを実施しました。また、座間味村では地元ダイビング協会協力のもと、地元の児童生徒へ環境教育として、6 月にはサンゴの産卵学習や、体験ダイビングを毎年おこなっています。陸域としては、小学生によるケラマジカの調査をおこないました。
特記事項	

【檜原村エコツーリズム推進協議会（平成30年4月認定）】

項目	内容
代表的なエコツアー	檜原村では、さまざまな事業者によって、自然観察、サイクリング、歴史・郷土芸能巡りなどのエコツアーや農業や林業などの体験型エコツアーを実施する予定である。 問い合わせ先： 檜原村エコツーリズム協議会 042-598-1011 
エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 檜原村の自然、文化などを守りながら持続的な利活用をしていくために、ルールブック（檜原村エコツアーの心得）を作成し、配布している。 〈観光振興・地域振興〉 ツーリズムEXPOジャパンに参加し、PR及び情報交換に努めた。 エコツーリズム推進協議会のホームページを構築し、公開に向けて準備を進めている。 〈環境教育の場としての活用〉 エコツーリズムを知っていただくため、全世帯に全体構想の概要版を配布し、各地区で説明会を実施する予定である。
特記事項	檜原村エコツーリズム推進協議会では、今年度、昨年度に引き続きガイドの養成講座などの実施、エコツアーのモデルコースの設定や地域の宝の発掘などを実施し、エコツーリズムの推進を図っていく。

【下呂市エコツーリズム推進協議会（平成 30 年 4 月認定）】

項目	内容
代表的なエコツアー	■溶岩台地の森でのんびりハイキング 実施時期：4 月中旬～11 月中旬 内 容：御嶽山から流れ出た溶岩流からなる溶岩台地の自然や歴史の物語を感じ、きもちのいい森の中でお抹茶を頂きます。 問合せ先：小坂の滝めぐり TEL:0576-62-2215 （平成 30 年度予定：4/21～11/11） ■小坂な冬の滝めぐりツアー 実施時期：1 月下旬～3 月中旬 内 容：マイナスのまさに氷と雪の世界。静まり返った森の中を進むと突如として現れる巨大な氷柱群。思わず息をのむ神秘の絶景をめぐります。 問合せ先：小坂の滝めぐり TEL:0576-62-2215 ■馬瀬里山ミュージアムガイドツアー 実施時期：通年 内 容：農村景観や日常の暮らしの文化を野外博物館に見立てて、ガイド付きの散策を行います。 問合せ先：南飛騨馬瀬川観光協会 TEL:0576-47-2841 ■飛騨街道「萩原宿歴史探訪」と街歩きツアー 実施時期：通年 内 容：飛騨街道「萩原宿」の街並みで「天領酒蔵見学」・「地元和菓子店」など萩原の食の匠の味に親しんで頂き、ガイド付きで歴史探訪を行います。 問合せ先：萩原町観光協会 TEL:0576-52-1370 ■飛騨街道 金山宿 筋骨めぐり 実施時期：通年 内 容：「筋骨」とは、路地裏通りのこと。昔から

	生活に密着した共同通路でそこに住む人々の生活空間として今でも活用されている宿場町を散策で楽しむことができます。 問合せ先：金山町観光協会 TEL:080-3637-2201
エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況	〈自然環境の保全〉 当協議会所属である飛騨小坂 200 滝が入口で協力金を徴収し遊歩道などの環境整備に充てている他、滝めぐりをしながらゴミを捨てないことや動植物を採取しないことを丁寧に呼びかける保全活動をしている。 〈観光振興・地域振興〉 下呂市民の方々に、地元の良さ（自然・歴史等）を知ってもらい、地元に誇りをもってもらう事を目的とした、市民限定の「ワンコイントリップ」というエコツアーを開催した。平成 29 年度実績（ツアー数：17 参加者：164 名） 下呂市エコツーリズム推進全体構想認定証授与式 実施時期：平成 30 年 4 月 19 日 内 容：環境省様より「下呂市エコツーリズム推進全体構想」の認定証を授与された。又、認定とエコツーリズムを認識してもらうために下呂市民の方に新聞折り込みを行った。（全地域：11,500 枚） 〈地域振興〉 地域のガイドを養成するため、ガイド養成講座を 3 回実施し計 65 名が参加した。また、自然資源のモニタリングに関する勉強会を実施し、計 32 名が参加した。 〈環境教育の場としての活用〉 下呂市内小学校対象の小坂の滝めぐりの遠足受入れ。 下呂市内小学校対象の出前授業実施。 （小坂の滝めぐりの活動紹介など） 地域資源の発見・評価、資源の素晴らしさもさることながら維持管理の難しさや課題などもふくめ地域人として誇りを持ち、他人事ではなく自分事として扱える人材を育てることを目的とした。
特記事項	平成 29 年 11 月 28 日に下呂市 DMO 委員会が法人登録され、下呂市 DMO 委員会と下呂市エコツーリズム推進協議会が連携をしながらエコツーリズム推進のために活動を行った。